



学校だより7月号

令和4年6月30日

横浜市立六つ川小学校

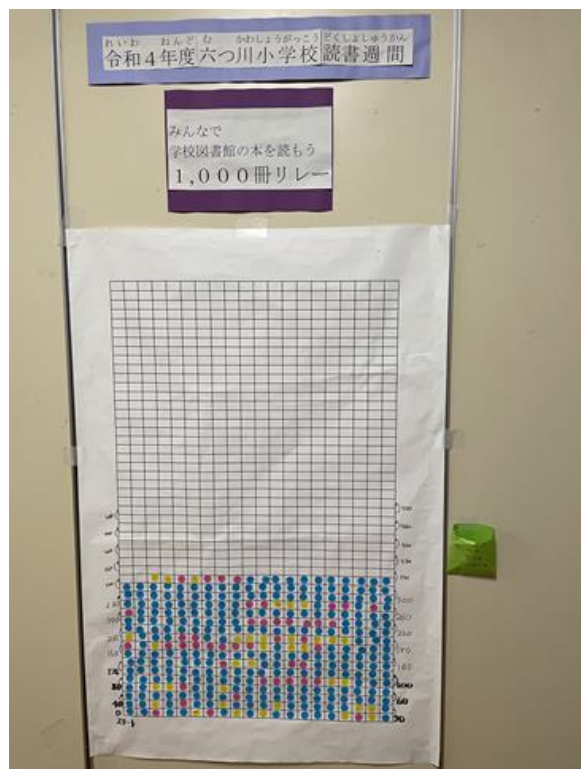
ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>

学校教育目標

みんなでチャレンジ 六つ川の子
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

1つ1つを積み重ねて

副校長 田川 容子



「このシールは、野菜の育て方の本なの。」と笑顔で学校図書館近くの壁にある表の前で、シールを手にして友達と読んだ本について話している姿を目にしました。1冊読み終えるごとに、1枚ずつシールを1000マスの下から順番に貼っています。

表は、読書週間に図書委員会の児童が「六つ川小学校全校で千冊の本を読もう」と計画し、掲示しているものです。昼の放送での呼びかけから3週間経ち、貼られたシールも421枚を超えました。1つの目標に向かって全校で取り組んでいます。

1年生が読書の時間に初めて「1,000冊リレー」に参加する場面に出会いました。マス目のどこに大切なシールを貼ろうかと考えている子、表の全体を見て多く集まっていることに気づいている子、どちらも笑顔が増していました。「順番に下から貼るんだね。」「1段目は左から貼っているから、2段目は右から貼るんだね。」

「そうだね。」と会話が弾み、貼る場所を確認してから丁寧にマスの中に貼っていました。

1つ1つ積み上げる姿を見ていると神奈川県出身の農政家である二宮尊徳の言葉を思い出しました。二宮尊徳は積小為大(小を積んで、大と為す)という言葉を残しました。大きな夢を叶えるためには、小さな積み重ねを続けていこうと呼びかけ、農村の改良や倹約を進め、富を譲り合う夢を叶えました。

3週間後には夏休みに入ります。夏休みまでに、読書のシールは何枚になっているでしょうか。個人面談などで来校された際には是非、学校図書館の前にもお越しいただき、「みんなで学校図書館の本を読もう。1,000冊リレー」の表をご覧いただき、ご家庭でも話題にさせていただけたらと思います。

図書委員会児童の思いが全校に広がり、夏休みも継続して読書を楽しんだり、今まで読んだことがない本に挑戦したりしてほしいと願っています。